

報道関係各位

【調査レポート】

《20～60代男性500人に聞く スキンケアに関する意識調査》

出世には肌の手入れが不可欠!? オトコのスキンケアの意外な効果が明らかに!

大塚製薬株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：岩本太郎）は、「肌の健康」を考える「健粧品（コスメディクス）※」という概念のもと、独自の発想と技術をもって研究開発を続け、2008年より独自の処方に基づき保湿成分AMP**を配合した男性化粧品「UL・OS（ウル・オス）」を発売しています。

このウル・オスの登場もあって、近年、男性のスキンケアに対する考え方は大きく変化してきたようです。そこで今回、20～60代の幅広い年齢層の男性を対象に、スキンケアの意識や実態を聞く調査を実施しました。すると、「オトコがお肌の手入れなんて」という考えが最早過去のものになり、男性もスキンケアを当たり前の身だしなみとしてとらえており、また、「肌の手入れをしている男性ほど出世が早いと実感する」など、男性のスキンケアが様々な効果をもたらしていることが明らかになりました。主な調査結果は以下の通りです。

※健粧品：cosmetics（化粧品）+ medicine（医薬品） ※AMP：アデノシンリン酸

<調査結果サマリー>

- ★8割近くの男性が肌に悩みアリ。悩み1位は「乾燥、かさつき」（23.4%）、2位「しみ・黒ずみ」（23.2%）、3位「頭皮の脂」（20.4%）。▶P2
- ★オトコのスキンケアは常識に!?! 肌の手入れをしている男性は45.0%。
肌の手入れは「身だしなみとしてすべきこと」と考える人が7割に。▶P3
- ★肌の手入れをする人ほど、肌が健康で自分を美肌だと自認。▶P5
- ★肌の手入れをする人ほど、出世が早いと実感、モテて友達も多い。
スキンケアは人生を前向きにする。▶P6

■調査概要 ○調査対象：全国の20代～60代の男性 500人 ○調査期間：2014年5月9日～12日
○調査方法：インターネット調査

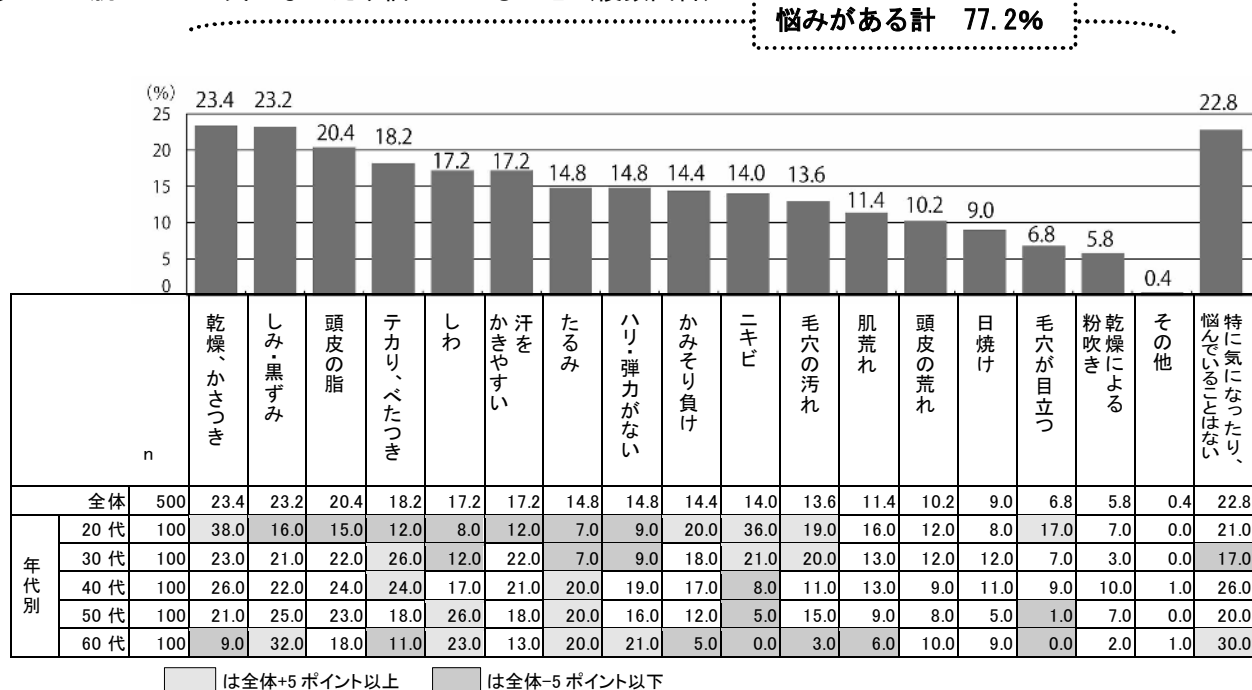
1. 肌の悩み

●8割近くの男性が肌に悩みを抱えている。

悩み1位は「乾燥、かさつき」(23.4%)、2位「しみ・黒ずみ」(23.2%)、3位「頭皮の脂」(20.4%)。

まず、男性が肌についてどのような悩みを抱えているかを見てみました。「特に気になったり、悩んでいることはない」という人が22.8%存在しますが、残りの77.2%は何らかの肌の悩みを抱えています。具体的には1位「乾燥・かさつき」(23.4%)、2位「しみ・黒ずみ」(23.2%)、3位「頭皮の脂」(20.4%)、4位「テカリ、べたつき」(18.2%)、同率5位「しわ」「汗をかきやすい」(共に17.2%)などとなっています。年代別で見ると、若い年代では「乾燥・かさつき」や「ニキビ」「毛穴が目立つ」などが高く、一方年代が上がっていくと「しみ・黒ずみ」「しわ」「たるみ」が高くなるなど、肌の悩みは年齢によって異なるようです(グラフ1)。

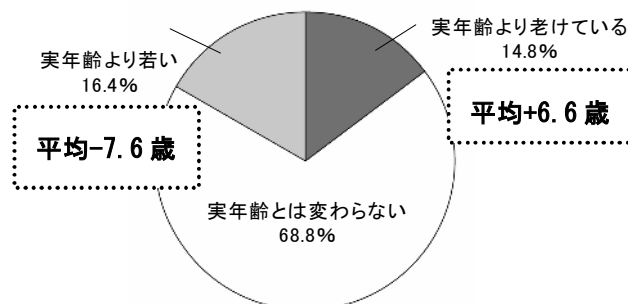
■グラフ1 肌について気になったり悩んでいること(複数回答)



●肌年齢が実年齢より老けていると思う人は14.8%、平均+6.6歳

肌悩みの多い男性達。肌年齢について聞いてみると、「実年齢とは変わらない」という人が多く(68.8%)、「実年齢より老けている」という人が14.8%、反対に「実年齢より若い」という人は16.4%いました。実年齢より老けているという人は、平均でプラス6.6歳老けていると感じていて、若いと感じている人は平均でマイナス7.6歳若いと感じています(グラフ2)。

■グラフ2 自分の肌年齢は実年齢と比べて若いか老けているか

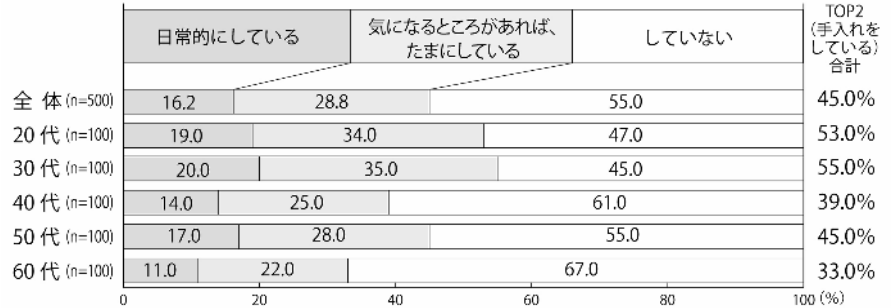


2. 男性のスキンケア実態

●肌の手入れをしている男性は約半数（45.0%）に上る。

肌の手入れをしているかを聞いたところ、「日常的にしている」人は16.2%。「気になるところがあれば、たまにしている」（28.8%）を合わせ、45.0%が肌の手入れをしています。特に20代、30代はしっかりスキンケアをしているようです（グラフ3）。

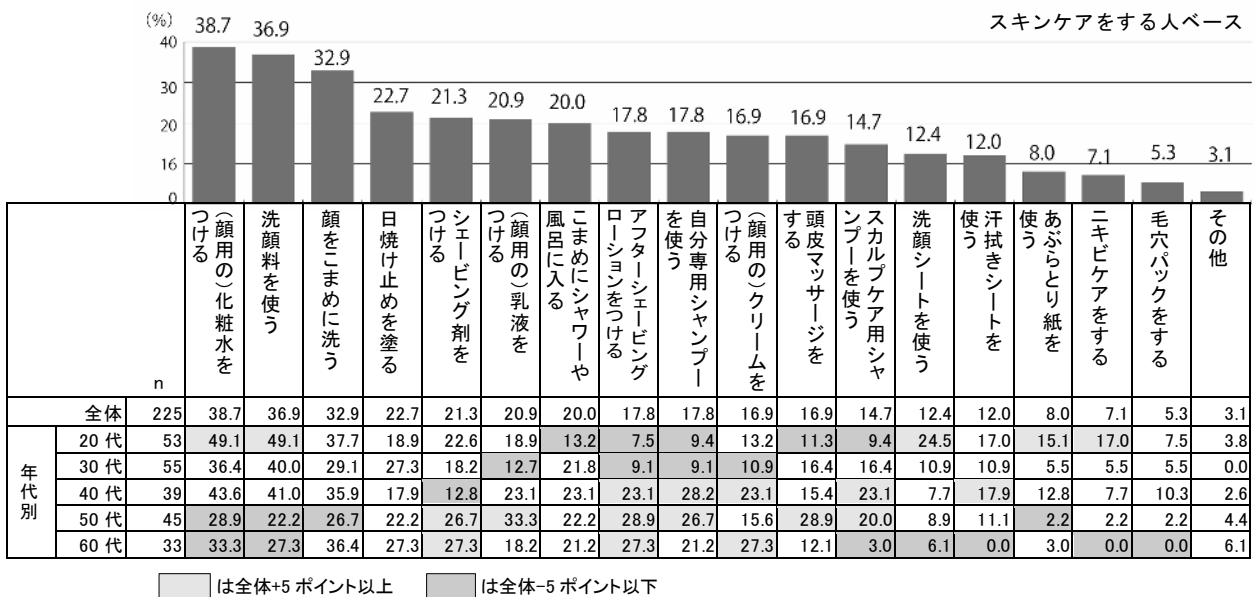
■グラフ3 肌の手入れをしているか



●肌の手入れの方法は「化粧水」（38.7%）、「洗顔料」（36.9%）、「こまめな洗顔」（32.9%）など。

肌の手入れをしている人に具体的な肌の手入れの実態について聞いたところ、1位「化粧水をつける」（38.7%）、2位「洗顔料を使う」（36.9%）、3位「顔をこまめに洗う」（32.9%）などが多くあげられました。1位、2位の項目では若年層が高率ですが、それ以外の項目では中高年層の割合が高いものも多く、中高年層もスキンケアのためにさまざまなアイテムや手法を取り入れようとしている様子が見えがえまます（グラフ4）。

■グラフ4 具体的な肌の手入れ方法（複数回答）



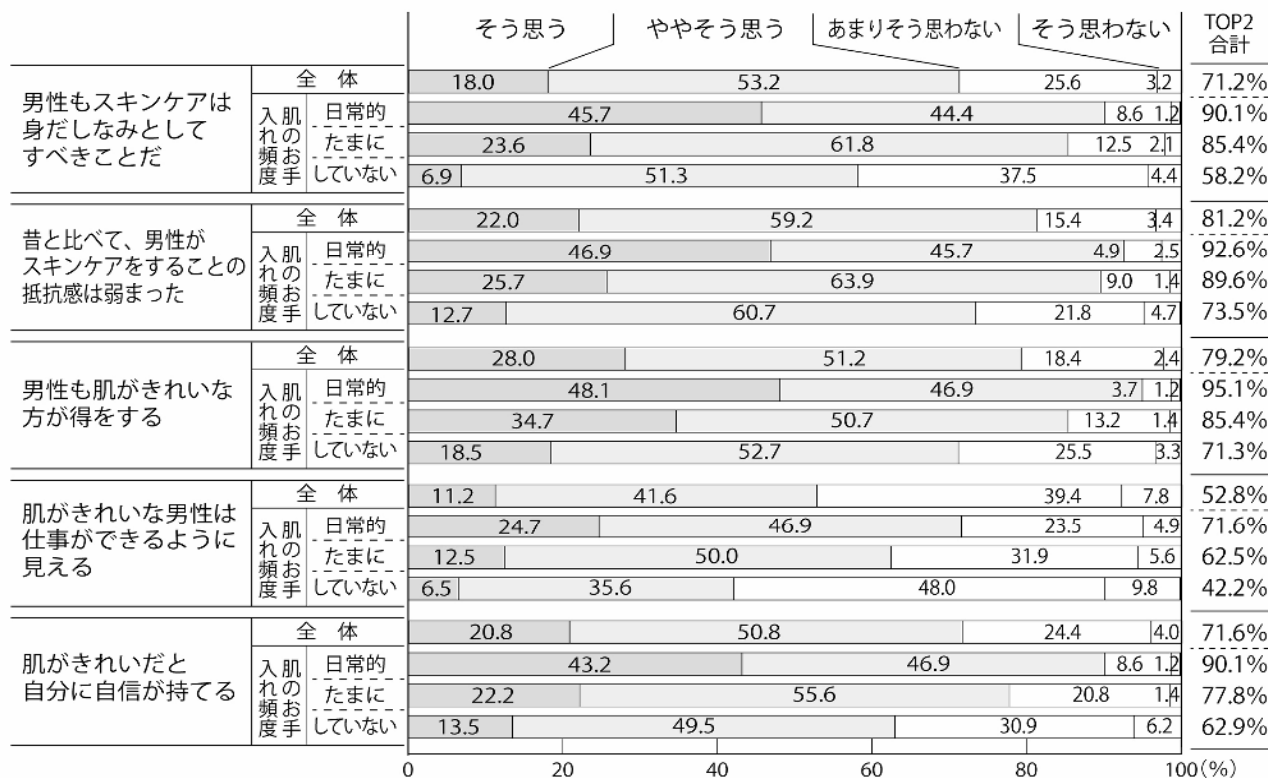
3. スキンケアに対する意識

●「男性もスキンケアは身だしなみとしてすべきだ」（71.2%）と、スキンケアが当たり前の身だしなみの時代に。「肌がきれいな男性は仕事ができるように見える」（52.8%）という認識も。

スキンケアについてどのように考えているか、さまざまな角度から聞いてみました。すると、「昔と比べて、スキンケアをすることの抵抗感は弱まった」（81.2%/TOP2:「そう思う」「ややそう思う」と答えた人の合計 以下同じ）、「男性もスキんケ

アは身だしなみとしてすべきだ」(71.2%/TOP2) など、男性のスキンケアはすでに当たり前のことになっている実態が明らかになりました。また、「男性も肌がきれいな方が得をする」(79.2%/TOP2)、「肌がきれいだと自分に自信が持てる」(71.6%/TOP2)、「肌がきれいな男性は仕事ができるように見える」(52.8%/TOP2) など、多くの人が肌が美しいことにメリットを感じているようです。もはや“きれいな肌は、できる男のステータス”となっています。いずれの項目も、肌のお手入れ頻度が高い人ほど「そう思う」「ややそう思う」と答える人が多く、“お手入れ派”はスキンケアに肯定的であることが改めてわかりました(グラフ5)。

■グラフ5 スキンケアに関する考え方 (全体 n=500 お肌のお手入れ頻度「日常的」n=81 「たまに」n=144 「していない」n=275)

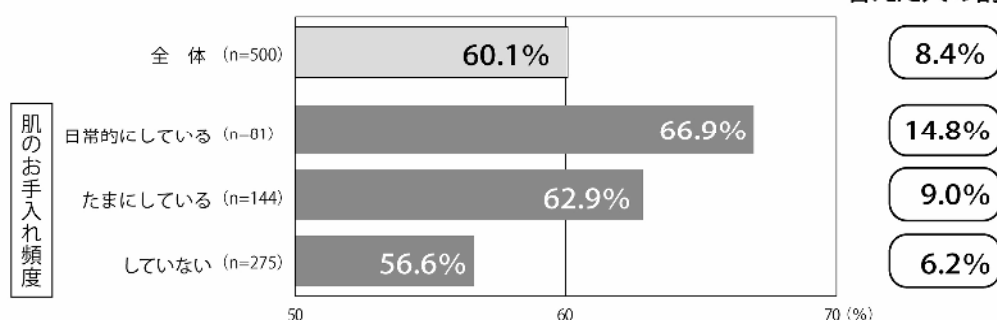


4. 肌の活力

●MAX 時の4割も減退！肌の活力はお手入れで保てる!?

調査対象者に自分の肌の活力度を、自身の潜在的な活力を100%として、現状何パーセントだと思うか自己診断してもらったところ、全体の平均は60.1%でした。つまり、多くの男性が、肌の活力が4割も減退した“お疲れ肌”であると感じているようです。一方で、100%以上と答えた“肌の活力自慢”が1割近く(8.4%)もいました。肌のお手入れ頻度別に見ると、“お手入れ派”ほど、自分の肌の活力を高く評価しています(グラフ6)。

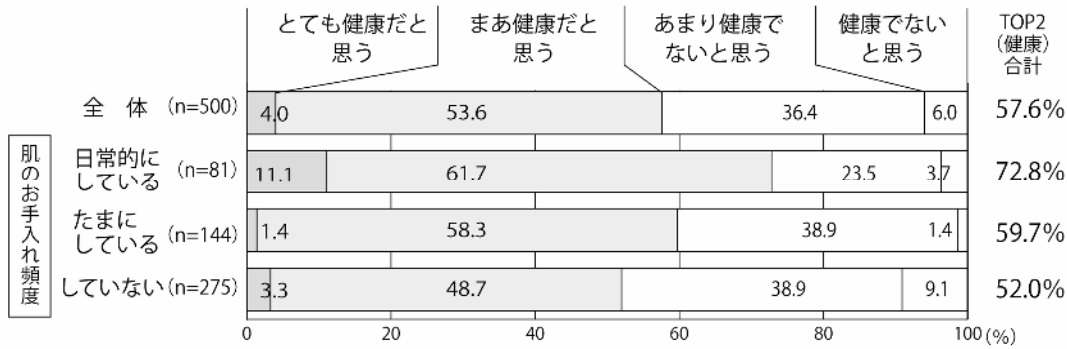
■グラフ6 肌の活力度(潜在的な活力を100%とした場合) / 平均 「100%以上」と答えた人の割合



●肌の手入れをしている人はやはり肌の健康度も高い

自分の肌がどの程度健康だと思うかを聞いたところ、「とても健康だと思う」という人はわずか4.0%ですが、「まあ健康だと思う」（53.6%）を合わせ、6割近く（57.6%/TOP2）が「健康」と回答しています。肌の手入れの頻度別にみると、やはりお手入れ頻度の高い“お手入れ派”ほど、自分の肌を健康だと考えています（グラフ7）。

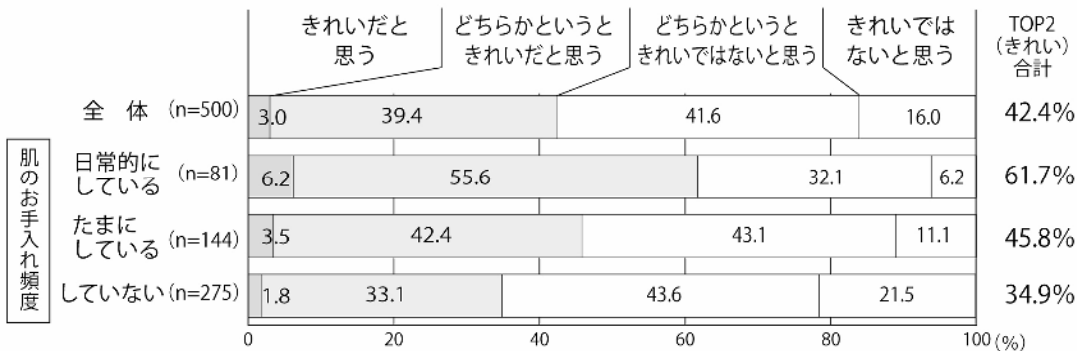
■グラフ7 自分の肌の健康度はどの程度だと思うか



●自分の肌が「きれい」だと思う人は42.4%。“お手入れ派”ほど自信があり、スキンケアの効果を実感！？

オトコの美肌認識（自分の肌がきれいだと思うか）を聞いたところ、「きれいだと思う」という人はわずか3.0%で、「どちらかというときれいだと思う」（39.4%）を合わせて4割強（42.4%/TOP2）が「きれい」と回答しています。前問の肌の「健康度」と同様の結果ですが、肌が「きれい」だと思う人はやや少ないようです。肌の手入れの頻度別にみると、やはり“お手入れ派”ほど肌がきれいだと自認しており、「日常的に肌のお手入れをしている」層は6割以上が「きれい」（61.7%/TOP2）と回答しています（グラフ8）。スキンケアの効果を実感しているのかもしれませんが。

■グラフ8 自分の肌をきれいだと思うか



5. 肌と仕事、出世、恋愛、人間関係

●肌のお手入れをしている人は、出世が早く、女性にモテて、友達も多い？ “できる男”はスキンケアにも人生にも前向きに取り組んでいることが明らかに！

肌のお手入れをしている人ほど、やはり肌に活力があり、健康的できれいだということが分かりましたが、そうした“見た目”だけでなく、スキンケアは“生き方”とも関係が深いようです。自身の仕事の能力やコミュニケーション能力について聞いたところ、日常的に肌のお手入れをしている“お手入れ派”ほど「仕事ができる方だ」(80.3%/TOP2)、「コミュニケーション力は高い方だ」(56.8%/TOP2)、「出世・昇給は早い方だ」(56.1%/TOP2)、「異性にもてる方だ」(53.1%/TOP2)、「友人は多い」(37.0%/TOP2)などと自己評価が高く、“できる男”はスキンケアにもしっかりと取り組みながら前向きな人生を歩んでいることが明らかになりました(グラフ9)。

■グラフ9 肌のお手入れ頻度と仕事・コミュニケーション能力の自己評価

(全体 n=500 お肌のお手入れ頻度「日常的」n=81「たまに」n=144「していない」n=275)



この件に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

ウル・オス広報事務局(電通 PR 内)

和田 朋子

TEL:03-5565-6057(直) FAX:03-3542-0640

製品に関するお問い合わせは、下記にお願いします。
大塚製薬株式会社 お客様相談窓口(医薬部外品・化粧品)

TEL:03-3293-3212(直)

URL: <http://www.otsuka.co.jp/>